

事業所における自己評価結果

事業所名 SEDスクール朝霞駅前

公表日 2025年 1月 31日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1		遊具のレイアウトを工夫して運動しやすい空間を作るように努めます。部屋や遊具の使い方や予定を職員間で共有するよう努めます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	●持続可能な人数ではない ●曜日によっては振り返りの要員がおらず、セッション担当職員が振り返り中に遊びの見守りを兼ねる時があり、見守り不十分である ●初回利用児のいるグループや有給取得者がいる際の土曜日にもう少し人員がいればと感じる ●利用者の見学や問い合わせが増えてきているので、今後、職員が増えるとうれしい	人員の不足する日は近隣の姉妹校と協力して安全第一で運営するよう努めます。人員不足が解消できない日は支援を縮小するなどご利用者様に協力を仰ぐことも検討します。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	●グループ時の避難場所がない（リス、ウサギ使用している） ●利用児にとって活動しやすい部屋を予め考慮し支援を実施している	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	グループセッションに関して全職員で共有できている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者向け評価表の回収率を高めたい	掲示とお声がけでは不十分だったため、次年度は以下の3点を検討します。（アプリだけでなく紙で回収する、掲示と配信だけでなくアンケート実施期間をプログラムに印字、小さなお便りの配布）
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		各自がご意見を真摯に受け止め、話し合った改善策を実行しようと努めます。ご意見を風化させないよう、定期的に議題にあげて確認します。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		●社内研修が充実している ●選択式研修は業務の合間に各自聴講しているが、研修の時間が確保されていると全体（職員）で話し合えるので、学びの場になると思う	過去に受講したの中から職員間で共有したい内容のものがあれば次年度に提案しあいます。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	1	まだISP作成や、それを元にした、一環した支援はできていないと思う。ここから地盤を作っていくたい	日々のカンファレンスにおいて、活動報告にとどまらず、半年目標や具体的な支援方法に関連する報告、次につながる提案を行うよう留意します。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	まだISP作成や、それを元にした、一環した支援はできていないと思う。ここから地盤を作っていくたい	計画担当者とは指導員とで共有するよう努めます。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	まだISP作成や、それを元にした、一環した支援はできていないと思う。ここから地盤を作っていくたい	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	フォーマルなアセスメント？	新版K式、円城寺、KIDS、JSI-R等

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ●もう少しみんなで運動療育について考えたい ●保護者様の意向を取り入れながらもお子様主体で係わっている 	15分間の使い方や活動の目的を明確化し、他指導員と共有するよう努めます。保護者様のご意向に偏らず、指導員はお子様の代弁者であるように支援します。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	児の組み合わせによる	翌年度の時間割は指導員間で相談して決めていく。新規の方のアセスメントをしっかりと行い、適切な枠をご提案するよう努めます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ●毎回ではない ●必ずは・・・ 	運動の時間に行う支援について、共有不足な点を改善します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ●グループは特に力を入れて丁寧に振り返りしている ●毎回ではない 	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	多忙のため記録を簡略化してしまっている	記録の共有だけでなく、翌週の担当者からも積極的に意見を求めるなどの働きかけを行うよう努めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		保護者様との面談の時間を設けている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		お子様の担当者が参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ●市役所の販売なども顔を出している ●お子さんによって支援がまちまちではある 	やや受動的だったので、スクールからも積極的に提案をしていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受けられる機会を設けているか。	4	2	長谷川先生、安井先生来てほしい	窓口担当者に依頼し、療育の品質向上を実現させるよう努める。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	ACCが運営する保育園に訪問したり、そこで働く先生方と懇談したりする機会がある	他スクールやACCの保育園の取り組み報告を共有している。オンラインで交流の機会を設けている。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		2024年度は全9回のペアレント・トレーニング講座を開催している	参加していない保護者様へ掲示などで周知していきます。
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		お子様と保護者様それぞれに聞き取りを行っている	
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			

保護者への説明等	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> ●SED朝霞駅前を卒業された利用児の保護者を招き、小学校入学に向けた情報交換の場を設けた ●保護者同士（+）きょうだい同士（-） 	
	37	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> ●やったらすみません。知らないです ●コドモアプリを活用している。リタリコブログの更新は不定期である 	お便りや空き状況を配信していますが、朝霞市のご案内なども積極的に発信します。ブログで定期的に活動報告をするよう努めます。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ●必要に応じて視覚支援等を行っている ●該当事例なし 	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ●9月に避難訓練週間を設けた ●児・保護者を巻き込んで訓練を実施（+） 	
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCP？	BCP、感染症、危機管理、不審者対応等、各種マニュアルを職員と共有しました。
	44	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	45	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	46	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	47	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	48	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> ●該当なし ●現在やむを得ず身体拘束を行わなければならない児がいない 	誤解を招くような遊びを提供しないよう徹底します。職員間で互いの係わり方を確認しあい、共有します。